

自宅を離れて無線を楽しみませんか

## 移動運用に出かけよう

JL3JRY 屋田 純喜 Junki Okuda

「移動運用」とは、自宅を飛び出して海や山に出かけ、アマチュア無線を運用する、アマチュア無線の楽しみ方の一つです。見晴らしの良い場所での運用は、思いがけないほどたくさんの局から呼ばれる「パイルアップ」を経験できます。そして、何よりも自然の中での移動運用は気分爽快です。山や海などの自然が大好きなアウトドア派のあなたに、新たな楽しみの一つとして、さらに世界を広げてくれるかもしれません。

### 6-1 アンテナを持ってフィールドに飛び出そう

遠く離れた局との交信を夢に見て、やっと手にしたアマチュア無線の免許。いざ開局しようと自宅へアンテナ設置の構想を考え始めると、あれっ、こんなにアンテナって大きかったの！屋根の上やタワーに上がっているアンテナは、下から見ると不思議と小さく感じます。実際に自宅への設置を考えたものの、敷地の問題や家族からの反対で断念した、そんな残念な話を耳にすることがあります。

しかし、せっかく苦勞して合格したライセンスをここであきらめてはもったいなくありませんか。そこで、アマチュア無線の楽しみの一つ「移動運用」を紹介します。

#### 6-1-1 移動運用のスタイルについて

移動運用を楽しんでいる人の運用スタイルは、ハンディ機で楽しまれる方から本格的な設備までさまざまです。移動運用といっても何も難しいことはなく、ハンディ機を1台フィールドに持ち出しさえすれば、そこはもう移動運用の世界なのです。そして、せっかくの野外での移動運用、「単に無線を楽しむだけではもったいない！」と、登山・キャンプ・釣り・天体観測などほかのレジャーと同時に楽しんでいる人もいます。

自宅では何かと制限があるアンテナですが、野外では固定局にも負けないアンテナの設営が可能です。しかし、移動運用ビギナーがいきなり大がかりな設備で運用するのは何かと大変です。あなたに合った移動運用スタイルを探すことから移動運用は始まります。一言で移動運用といっても、楽しみ方はさまざまです。以下の中から自分に合ったスタイルを探してみましょう。

#### ● ハンディ機1台で手軽に移動運用

近くの友達と連絡を取り合うために購入したハンディ機が1台。しかし、あまり使わずに、しまっている人も多いのでは。そんなハンディ機を、一度フィールドに持って出かけませんか？見晴らしの良い所ならダイヤルをどこに回しても聞こえてくる多くの局に、「えっ、付属のホイップ・アンテナなのに！」ときっと驚くはず。ハンディ機は、もう単なる連絡手段の道具ではなく、立派な移動運用の友とし